

アイデンティティクライシス

海幸彦と山幸彦 アイデンティティクライシスを超える神話 ▶ ステージを上げるための大事な話

START

「いいな」と思う

日常この人いいなと憧れ、うらやましいから始まる。

憧れ 神話の釣り針

自分の成功、幸せ
(と思い込んでいる)
人の潜能、借り物

真似してみる (足し算の段階)

うまくいかない

自分の持っているものを総動員

POINT 徹底的にやる (山幸彦: 500個+1000個)

自分の持っているものを総動員、思いつく限り全部やる

お客様の名前を1人書いて
出来る事を全てやる

全てを出す

やったことは
無駄にはならない

失敗

やってみて玉砕される
ことごとく通用しない

呆然とたたずんで放心状態。
もうだめだ。どうしたらいいの?

たった一人のメンター、仲間、お客さん

メンターやともに歩む仲間、一緒に協力してくれるパートナー、自分の進む方向を教えてくれるお客さんなど次ぎに行くために大事な事を教えてくれる人と出会う。一言やアドバイスなどで、本当の幸せや役割、テーマの方向などがわかる。

行きたくない (苦手な事など) アイデンティティクライシス

巻き込まれるかのごとくすすむ
(あきらめ、開き直り、あわい期待)

海の表面
(心の表面にいろんな
汚れがある)

他人の価値観

自分との深い対話
内省、自分自身と
向き合う

海に入る

海: 自分自身

龍宮城: 御霊、本心、真我
本当の自分、良心

龍宮城
本当の自分

世の中の潜能を抜けて
深いところの自分と対話

龍宮城

本当は何を
したかったのか?

つまらない針 他人の成功と決別

憧れていた成功は他人の成功。
他人の成功はツマラナイもの。
他人のものを追いかけても、
目指しているものは他人のものなので、
あなたの心は豊かにならない。

ほんとに大事にしたいもの
これだというものを見つける

行動パターンの逆転 今まで大切だったものが大切でなくなる

アイデンティティクライシスを乗り越えると
価値観の逆転 (180° 反転する) これ大事にしようと思う。

潮満玉

A

正反対のもの。AとBを包み込む。みんなの幸せを考えるのが日本的発想。

潮干玉

B

自分とお客さん、業界の利益、幸せを一つと考える。